

北里大学医療衛生学部 半期の主なニュースと魅力を満載!!

新A号館完成 定礎式・竣工式・内覧会



新A号館・全景

新A号館は、2020年7月14日に、大成建設、日建設計、紀伊国屋書店、アクシオ、学内関連部署の素晴らしいチームワークにより完成いたしました。7月18日の竣工式には、前述の会社役員様、法人関係者として小林弘祐理事長を代表とする皆様のご参列を賜り、厳粛な神事と内覧会を実施いたしました。この場をお借りいたしまして、厳重なCOVID-19感染防止対策を施させて頂いた中、ご参加いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

地上6階建ての耐震構造の建物には、事務室、臨床工学専攻、医療検査学科、健康科学科、基礎医学部門、大学院医療系研究科が入りました。自然光を取り入れた明るい建物には、随所に「北里精神」が掲げられ、1階そして南側の階段踊り場スペースを利用した多くの学生ラウンジ、教職員用のセミナールームと2つのヒュッゲ（後述）が設けられています。全てにWiFi環境が整えられ、ヒュッゲには、Web会議にも対応できる大型ディスプレイも完備しており、今後の皆様の活用が大いに見込まれます。

今後は、診療放射線技術科学専攻とリハビリテーション学科が入る、現A3号館の改修を来年3月までに終え、4月以降に旧A1号館を解体しこのプロジェクトは終わりを迎えます。最後に、学部「プロジェクトA」の皆様を筆頭に、全ての教職員のご協力に感謝いたします。

（学部長 北里 英郎）



新A号館・夜景



内覧会



定礎式



記念品



竣工式

新A 1 Floor

臨床工学実習室



臨床工学実習室では、臨床工学技士にとって必須となる呼吸・循環・代謝に関わる各種生体機能代行装置、生体計測装置、システム工学、治療機器、医療機器安全管理に関する実習が行われています。

臨床心理相談センター

<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/ccp/index.html>

学生ラウンジ

お昼には移動販売があります。電子レンジもあります。



実験動物施設

生命科学の研究・教育及び動物福祉の推進に寄与することを目的としています。



中央グラフィック



事務室

赤い壁、大きな窓、開放的な事務室です。お気軽にお立ち寄りください。



学部長室

皆様、学部長室は、応接セットを事務室と共有する新たなスタイルで、コンパクト且つ機能的に生まれ変わりました。迷路の様な通路の途中に入口がありますが、気楽にお立ち寄りください。



RI実験施設

放射線計測に関わる学生実習(RT、ML)や研究活動(放射線検出器開発など)で利用します。この施設では、既存のA3-1F放射線物理学実験室より放射能の大きな密封線源(Co-60, 37MBq)を利用できるのが特徴です。



会議室

ここで学部の方針を決定します。



小会議室

少人数の打ち合わせに最適。私たちがいます。



南側グラフィック

新A 2 Floor 講義室・他



パウダーコーナー
ここで身だしなみを整えて。



情報処理ラック室

医療衛生学部ネットワークを相模原キャンパスネットワークに接続するための機器が設置されているコンピュータネットワークの拠点となる部屋です。



201～209 講義室

後ろの壁はグラデーションになっています。



208



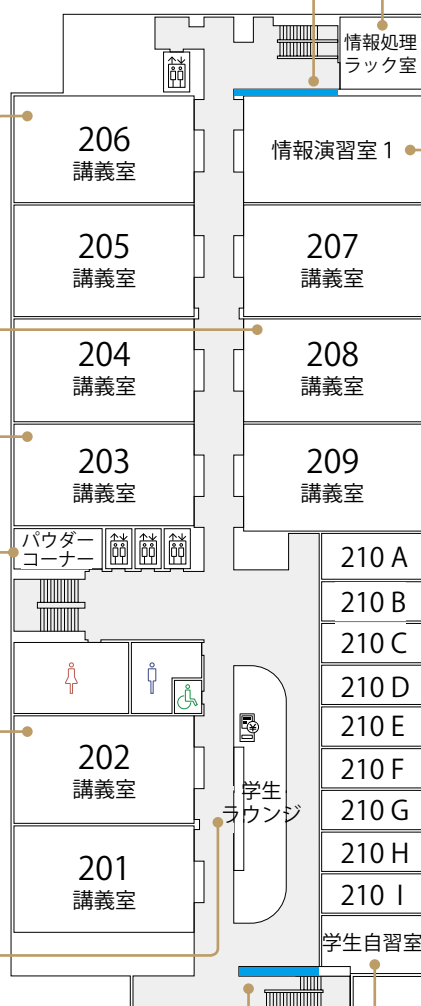
206



203



講義室扉



情報演習室 1

2 Fフロアの北東側にあり、全専攻における1年次の情報リテラシー教育用に1人PC1台という環境を提供する演習室です。授業がない時間は自習用に解放されています。



210 A～I 多目的室

ガラス張りのおしゃれな教室。パーティションを外すと大講義室になります。



学生ラウンジ

飲料の自動販売機とコピー機があります



南側グラフィック

学生自習室



新A ③ Floor

臨床工学専攻 (CE)
医療検査学科 (ML)・他

医療電子工学研究室



医療電子工学研究室は、先進の光子・光技術・エレクトロニクスの医療応用研究により、生体の不思議な構造・機能の理解や先進治療への応用を目指しています。

HYGGE 1

Hygge (ヒュッゲ)とはデンマーク語で「居心地の良い空間」を意味し、教職員の交流を目的とした教職員専用ラウンジです。3Fはシンプルで汎用性の高い設計になっており、小セミナーを行うことも可能です(要予約)。



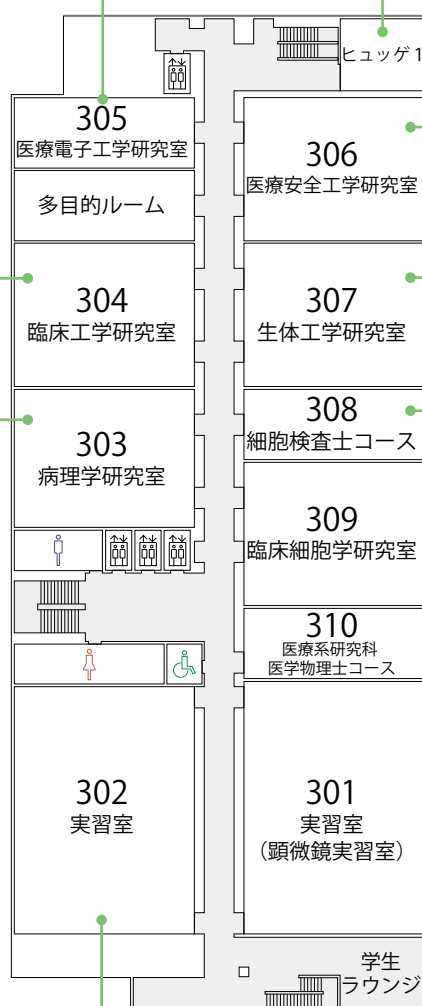
臨床工学研究室

臨床工学研究室は、再生医療や生命維持装置と生体との相互作用の検討および生体適合性のある生命維持装置の開発などを基礎的検討から応用までの研究を行っています。



病理学研究室

病理組織標本の作製・染色にはホルマリンや有機溶剤を使用するため、大型の排気装置を新設しました。法令を遵守し、健康に配慮した環境が整っています。



医療安全工学研究室

医療安全工学研究室は、医療機器や病院設備、ヒューマンファクタ等、相互に関連した医療リスクの解析や機器開発を通じて医療現場の安全性・信頼性を確立することを目標に研究を行っています。



生体工学研究室

生体工学研究室は、流体、固体、熱、振動といった力学を取り扱う機械工学分野を基礎とし、生体の構造理解や医療技術への応用を目指しています。



医療検査学科実習室 (302)



主に、臨床検査技師に必要な血液や尿といった検体を取り扱う実習を行っています。実習室内には両サイドに大型モニターが計6台設置され、実習室のどこからでもスライドが見やすくなっています。

細胞検査士コース

机を横に広く配置することで、教員と学生の顔をお互いに確認しやすくなりました。講義と顕微鏡実習の両方に対応したレイアウトとなっています。



新A 4 Floor 医療検査学科 (ML) ・ 他

免疫学Ⅱ研究室

免疫学Ⅱ研究室では、感染症や癌に対する免疫応答、神経変性疾患に關する免疫応答の解析などについて、北里大学病院、他の大学や研究機関と協決して研究しています。



血液学研究室

悪性腫瘍や血小板減少症の病態解析に基づいた検査や治療法の開発を目指しております。卒業研究では自主性と問題解決能力を重んじた教育を行っております。



同窓会事務局

約 15,500 人の同窓生の名簿管理や親睦を図る行事等の運営をしています。同期会等開催の際には、お気軽にご相談ください。詳細はHPをご覧ください。



免疫学Ⅰ研究室

免疫学Ⅰ研究室では、自己免疫疾患の発症メカニズムについて、主にマウスを用いて研究を行っています。ML 出身の大学院生が大活躍しています。



臨床化学研究室

世界の 10 人に 1 人が患っているとされる「糖尿病」。その合併症「糖尿病性腎症」の発症メカニズム解明と早期診断法の開発を研究しています。研究室には病院、研究所、企業の方、卒業生が研究や勉強のため来ています。お気軽にお越しください。



臨床検査学研究室

臨床検査学研究室では、がんの早期診断マーカーの獲得を目指し、抗体を基盤とした研究を行っています。興味のある方もない方も気軽に研究室を訪ねてください。



医療検査学科実習室 (402)



2ML・2HS の生化学実習や 3ML 臨床化学実習などに使用されます。モニターが完備され、実習講義や操作説明がスムーズに行えます。

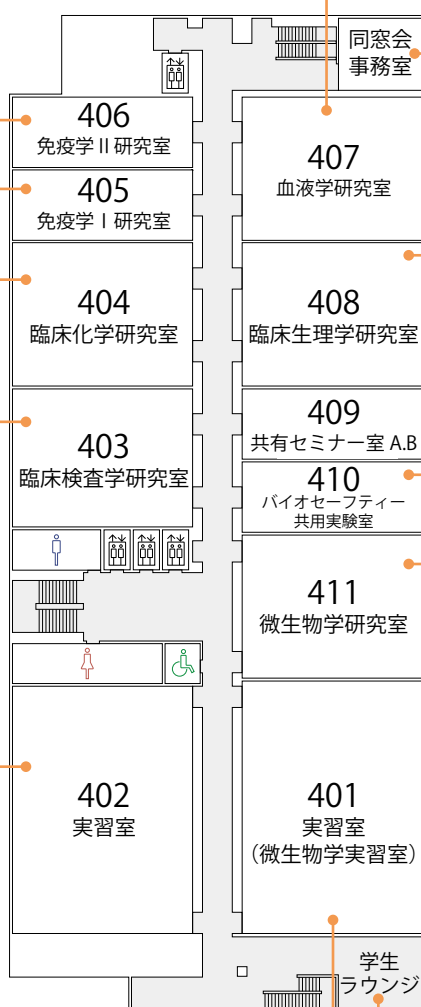
微生物学実習室 (401)



2ML・2HS の微生物学実習等に使用されます。BSL2 指定実験室として、安全キャビネットやオートクレーブを完備し、病原体の正しい操作技術を学びます。

学生ラウンジ

静かな癒しの空間で、自習や休憩にはぴったりです。



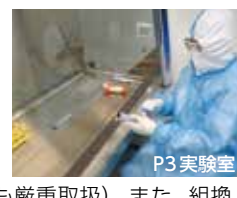
臨床生理学研究室

臨床生理学研究室ではスパイロメータ（呼吸機能検査）、心電図、超音波装置などさまざまな測定機器を用いて、主に呼吸器系や循環器系に関する研究を行っています。



バイオセーフティー共用実験室

バイオセーフティー実験室として、病原ウイルスや薬剤耐性菌の研究に活用しています（新型コロナウイルスも厳重取扱）。また、組換えウイルスやプラスミドを使ったゲノム編集や遺伝子組換え研究を行えます。



微生物学研究室

微生物学研究室では社会問題である感染症の研究を行っています。細菌分野では薬剤耐性菌、ウイルス分野では新型コロナウイルスなどを扱い感染症制圧への貢献を目指します。



新A 5 Floor

健康科学科 (HS)
大学院医療系研究科・他高層階からの
壮大な丹沢ビュー

写真のような晴れの日はもちろん、曇りや雨の日も風情があっておすすめです。仕事や勉強の合間に自然と美しい景色が目に入って、とても気分が良い！

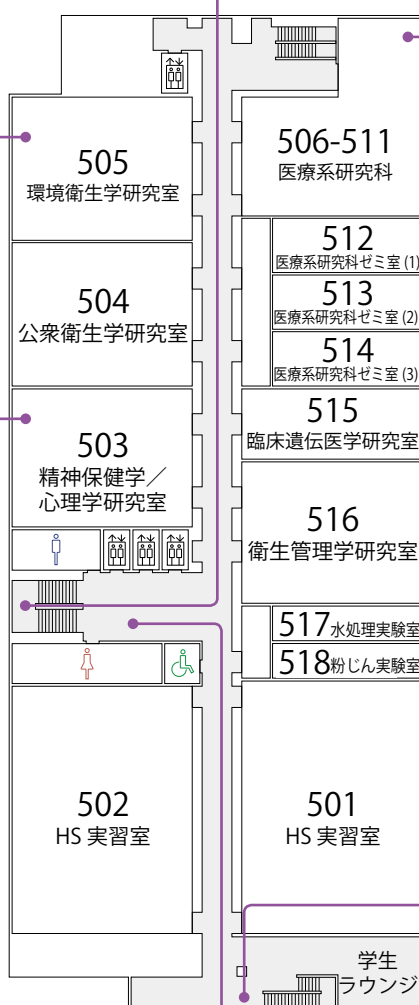
DIY で作り上げた基地

環境衛生学研究室の清和成先生の教授室には重厚感のあるデスクや本棚がおかれ、さながら社長室。すべてご自分で組み立てたというこだわりの基地に、ぜひ遊びに来てください。



ガラス張りの放送室

精神保健学／心理学研究室内の居室はガラス張り。そして田ヶ谷浩邦先生の教授室にはオンライン／オンデマンド授業時に点灯するON AIRのランプが。ユニークなラボをのぞきに來ませんか？

気持ち良く会議ができそうな
ミーティングルーム

医療系研究科医療人間科学群のミーティングルームは2面がガラス張り。一部の講義もここで行っています。眺望が疲れた頭と心の一服の清涼剤になってくれそう。



秋も待ち遠しい癒しの風景

実習室のある南側の廊下からは北里大学病院と木々がいい感じに調和した景色が見晴らせ、心が和みます。葉の色が変わる秋の景色も期待しています。

健康科学科を
爽やかにあらわすボード

エレベーターを降りて目に飛び込んでくるのは、健康科学科のイメージカラーであるピンクのボード。対象が植物、動物、水、食べ物、人間と多岐にわたる本学科を爽やかに表現しています。



新A 6 Floor 基礎医学部門 (BM)・他



挽きたてのコーヒーと共に (病態生化学研究室)

病態生化学研究室のセミナー室は学生と教員の情報交換の場。コーヒーは挽きたてじゃなきゃなんていうこだわり、実はありません。誰とでも話し、なんでも試す、これが生化学の「こだわり」です。

安らぎの空間 (HYGGE 2)

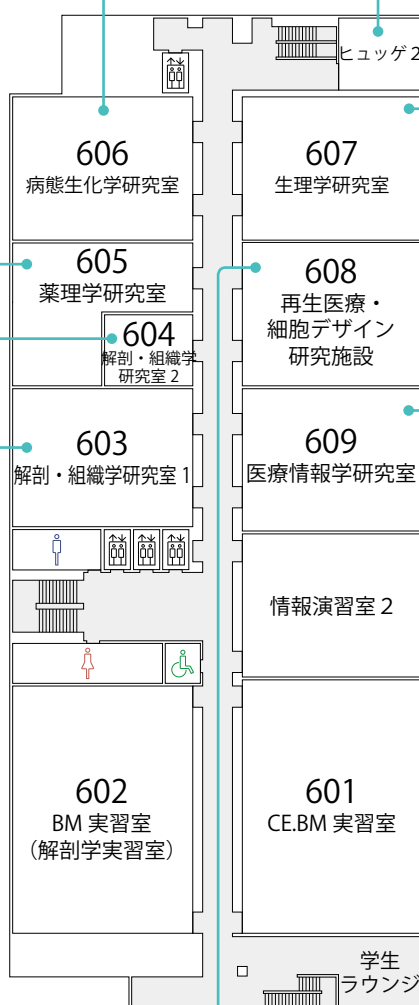
HYGGE (ヒュッゲ) とは、デンマーク語で「居心地の良い空間」を意味し、教職員の憩いの場として設置されました。インターネットや大画面モニターを備えているのでWeb会議には最適です。



いつもの笑顔

(薬理学研究室)

薬理学研究室は落ちついた雰囲気のある生物系ラボですが、入ってすぐのお部屋は学生たちの笑顔であふれています。



パーフェクト学生居室

(生理学研究室)

広々とした机と大きな棚、疲れない椅子に静かな空間、学生がストレスなく勉学に集中できるよう最大限配慮されています。



顕微鏡専用のお部屋

(組織・解剖学研究室)

各種顕微鏡を取り揃えておりますので、お気軽にご利用ください。



医療情報学研究室ならではのサーバ室

(医療情報学研究室)

一列に並べられたコンソールは、使い勝手良好。埋込配線にすることで、管理者以外はネットワーク配線を変更できない仕組みになっています。



共有機器が集まりました！

(再生医療・細胞デザイン研究施設)

誰でも使える機器の紹介をします。共焦点顕微鏡、マイクロディセクション、リアルタイムPCR、マイクロアレイ、マイクロトーム、クリーンベンチ、インキュベーター、フローサイトメーターなど他にも掘り出し物がたくさんあります。一度お訪ねあれ。



マイクロアレイ



共焦点顕微鏡

新任教員紹介

リハビリテーション学科 理学療法専攻

教授 神谷 健太郎



愛知県刈谷市生まれ。2002年北里大学医療衛生学部卒。北里大学病院主任を経て2017年より医療衛生学部に着任。趣味は旅行、アウトドア、野球（ただし、現在は野球肩にて投球不可）。

理学療法専攻

教授就任のご挨拶

2020年9月よりリハビリテーション学科理学療法専攻 理学療法評価学の教授を拝命いたしました。

私は、医療衛生学部の5期生として入学し、卒業後は修士課程を経て大学病院に勤務し、心臓血管センターや集中治療室に入室した患者様の骨格筋や運動機能の臨床的評価と意義に関する臨床研究をおこなってきました。最近では、若手医師の研究グループと全国レジストリー調査や学会主導の研究班において心疾患のリハビリテーションの効果に関する研究に力を注いできました。

本学の理学療法専攻の卒業生は他の養成校の学生と比較しても大学院の進学率が高く、また、卒業後も様々な臨床現場や教育現場でリーダーとして活躍しています。当専攻の開設から現在に至るまで「尽力された先人に感謝するとともに、さらなる教育・研究の発展へとつなげるために尽力していきたいと考えています。」を目標としてお願ひいたします。

医療検査学科 臨床検査学

助教 朽津 有紀



千葉県出身。北里大学医療衛生学部卒業。京都府立医科大学大学院医学研究科修士課程修了、北里大学大学院医療系研究科博士課程修了（医学）。趣味は舞台観劇と旅行。

臨床検査学研究室

助教着任のご挨拶

2020年4月1日より医療検査学科臨床検査学の助教として着任いたしました。

北里大学同学科の17期生として卒業後、京都で修士課程を修了し、今年の3月本学大学院にて博士号を取得しました。学部生時代からお世話になった先生方や職員の方々と母校で一緒に教育に携わることができ、大変うれしく思います。今後はより一層研究活動に邁進するとともに、学生とのコミュニケーションを大切にし、思いやりや協調性を持った人材の育成に尽力したいと思っています。教育者としても研究者としても至らない点があるかと存じますが、北里で学び得たことを活かし日々精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

旧衛生学部の石碑が移設されました

北里大学医療衛生学部同窓会副会長
北里大学客員教授 秋田 久直



移設された石碑
第二代衛生学部長 故 安斎 博先生の書

2020（令和2）年7月の医療衛生学部新A号館竣工に伴い、旧A1号館前庭植栽に設置されていた衛生学部の石碑が新A号館南側植栽内に移設されました。この石碑は、1973（昭和48）年度卒業生が制作し、衛生学部創立15年を記念して1977（昭和52）年10月に寄贈したものです。石碑に名を残す衛生学部は、1962（昭和37）年に開設された北里大学最初の学部であり、1994（平成6）年4月に医療衛生学部と理学部に改組されています。北里大学並びに本学部の歴史を後世に残すために、北里英郎学部長を始め学部の皆様が新棟建設当初よりこの石碑の保存を決めていたと伺っており感謝いたしております。医療衛生学部同窓会は石碑と共に医療衛生学部の益々のご発展をお祈り申し上げます。

編集

後記

本号は新A号館完成の特集号となっております。菅総理大臣の所信表明に「新型コロナウイルスの感染拡大と戦後最大の経済の落ち込み」という、国難の最中にある「云々」とありましたが、まさにこの厳しい時期に完成致しました。各階の特徴、説明は是非内容をご覧頂きたいと思っております。今後新A号館を訪れる皆様のごに何があるかすぐにわかるように構成し本号は永久保存版と考えております。個人的には1階の外、A3号館との間にある椅子、テーブルがお気に入りです。コロナの最大の悪い点はヒトとヒトとのつながりを割くことだと私は思います。是非このスペースも活用頂き会話を楽しんで下さい。

編集委員会

石川 均
委員 深瀬 裕
黒崎 祥史
太田 悦朗
清水 忍
藤村 英子
川島 佐子
阿部 祥子
野崎 佳子
井上 佳子